

景気の動き

四 国（地域経済報告－さくらレポート－・日本銀行）

項 目	10月判断	前回（7月判断）
総括判断	四国地域の景気は、緩やかに持ち直している。	同左
公共投資	持ち直している	同左
設備投資	増加している	同左
個人消費	持ち直している	同左
住宅投資	弱めの動きとなっている	同左
生 産	振れを伴いつつも、弱めの動きとなっている	同左
雇用・所得動向	緩やかに改善している	同左

〔日本銀行 2025年10月6日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項 目	10月月例	9月月例
基調判断	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。）	同左
個人消費	持ち直しの動きがみられる	同左
設備投資	緩やかに持ち直している	同左
住宅建設	このところ弱含んでいる	建築物省エネ法等改正に伴う駆け込み需要の反動もあり、このところ弱含んでいる
公共投資	堅調に推移している	同左
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている
	輸入	持ち直しの動きがみられる
	貿易・サービス収支	赤字となっている
生 産	横ばいとなっている	同左
企 業	収益	米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる
	業況判断	おおむね横ばいとなっている
	倒産件数	このところ増加がみられる
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左
物 価	国内企業物価	このところ横ばいとなっている
	消費者物価	上昇している

〔内閣府 2025年10月29日発表〕